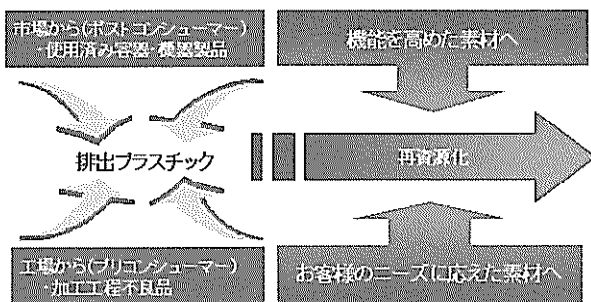


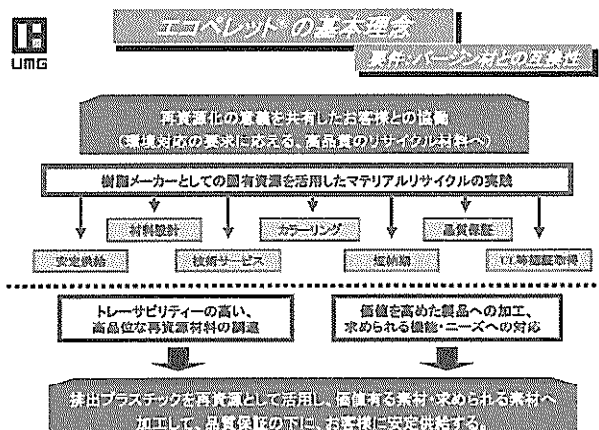
外装、住宅建材等に使われております。

3. 資源循環型社会に向けて

近年、資源循環型社会に向けて家電リサイクル法、グリーン購入法等が施行され、プラスチックのマテリアルリサイクルが必須の時代に入ってきました。「再生プラスチック＝2級品」のイメージを払拭し、環境対応の要求に答える高品質のリサイクル材料が求められています。



弊社ではビジネスとしてこの課題にいち早く取り組み、数年前より事務機器の部品に使われているABS樹脂のクローズドマテリアルリサイクルを実践しています。こうした、限定したお客様とのクローズドリサイクルの拡充に加えて、更に一方ではオープンタイプのマテリアルリサイクルシステムを確立し、材料メーカーによる品質保証を付帯させた環境対応材料としてエコペレット®の商標で市場展開を始めています。



【エコペレット®について】

弊社が永年に亘って培った独自の改質・コンパウ

ンド・着色の技術をベースにして、市場より調達したプラスチックの使用済み製品や生産・加工ロス品を原料の一部に還元し、お客様のニーズに合わせた材料設計を行い、価値を高めた材料へと加工しています。こうして排出プラスチックの物質再資源化を通じて、資源循環型社会の構築・環境保護に積極的に努めています。

【エコペレット®の実例】

1) 富士ゼロックス様とのマテリアルリサイクル

UMG ABS株式会社は、富士ゼロックス株式会社との長年にわたる共同開発の結果、'98年には富士ゼロックス社の国内生産複写機に初めてクローズド・マテリアルリサイクル・システムによるリサイクルABS樹脂を量産向けに提供を開始し、その成果は第25回環境賞(主催(財)環境調査センター・日刊工業新聞社・後援環境庁)や第10回日経PB技術賞エコロジー部門の共同受賞を通して高い評価を受けています。又、'02年には韓国への輸出を始め、韓国の成形メーカーで富士ゼロックス向け複写機の部品に成形した後、富士ゼロックス社に再輸入するボーダーレスなリサイクルプラスチックの供給も進めてまいりました。更にこのたび、「富士ゼロックス・シンセン」(中国)にて生産(成形、製造)される商品にも本リサイクルプラスチックを採用頂き、最適地生産を加速されるお客様に付加価値の高いリサイクルプラスチックを新造品プラスチック材料同様、ボーダーレスな供給を開始しました。

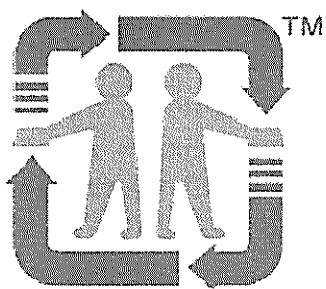
2) NTTドコモ 様とのクローズドマテリアルリサイクル

UMG ABS株式会社では携帯電話用卓上ホルダーのクローズドリサイクルをNTTドコモ・日鉱金属グループとの協働により確立いたしました。

NTTドコモでは、携帯電話端末及び卓上ホルダー等の付属部品について、①持続的なリサイクル活動、②有限資源の有効利用、③廃棄物の削減 を目的にマテリアルリサイクルを検討してこられました。

この度、一般ユーザーから回収した卓上ホルダーをNTTドコモ側での機種分別、日鉱金属グループでの分解・分別・破砕技術、UMG ABS株式会社の再資源化技術を駆使し、マテリアルリサイクルを確立いたしました。

再生リサイクルABS樹脂(エコペレット®)は505iシリーズ卓上ホルダー筐体への採用を皮切りに、他モ



NTTドコモABS樹脂リサイクルロゴマーク

デルへも順次拡大使用が見込まれています。

4. おわりに

UMG ABS株式会社はすぐれた材料とお客様の要望にお答えするソリューションを提供し、お客様とともに発展する企業を目指しております。グラフト重合技術、コンパウンド技術、着色技術等をベースにリサイクルなど、地球環境対応に積極的に関わり、グローバル展開を進めていきます。

